

(財)女性労働協会
平成14年11月26日

連絡先	財団法人女性労働協会
	専務理事 鈴木 佑治
	電話 03-3456-4410
	03-5444-4151
	所在地 東京都港区三田3-5-21 三田北島ビル4階

地域で支え合う子育てに大きな評価・高まる期待

- ファミリー・サポート・センターの現状 -

財団法人女性労働協会では、仕事と育児との両立支援や地域の子育て支援を行うファミリー・サポート・センターの現状を明らかにするため、育児の援助を行いたい会員（以下、提供会員）、育児の援助を依頼したい会員（以下、依頼会員）及びファミリー・サポート・センターに対し調査を行った。

本調査は、ファミリー・サポート・センターの運営支援事業の今後のあり方を検討するために当協会に設置している「相互援助活動に関する研究会」での基礎資料とするために実施したものであり、この度、調査結果の一部がまとまったので紹介する。

調査結果の要旨

1 会員の状況

- (1) 1センターあたりの会員数は約500人（第1図）（第1表）
- (2) 提供会員、依頼会員とも会員の過半数は「仕事あり」、依頼会員の7割はフルタイム（第2図）（第2表）（第3図）（第3表）

2 会員になった理由

- (1) 提供会員では「育児の援助がしたい」が3割強（第4図）（第4表）
- (2) 依頼会員では「育児と仕事の両立のため援助を頼みたい」が約半数（第5図）（第5表）

3 センター活動の状況

- (1) 1センターあたりの3か月間の活動件数は656回、活動内容は「保育園、幼稚園への送り、迎え、幼児の預かり」が半数（第6図）（第6表）
- (2) センター活動に対する評価は提供会員で7割、依頼会員で8割が満足（第7図）（第7表）

4 センター活動の良い点

- (1) 提供会員では「やりがいを感じる」、「子どもとのふれあいが楽しい」が6割強、「育児の経験を生かせる」が5割強（第8図）（第8表）
- (2) 依頼会員では「安心して預けられる」が7割強、「いつでも預けられる安心感がある」が6割強（第9図）（第9表）

5 センター活動で困っている点

提供会員では「依頼が少ない」、依頼会員では「利用料が高い」とする者が比較的多い（第10図）（第10表）（第11図）（第11表）。

6 センター活動等についての意見、要望

センター活動等についての自由記述欄では、提供会員の8割、依頼会員の6割を超える者が意見等を記述。センター活動に対する関心の高さが示された。記述内容の大半はセンター活動を評価するものとなっている。

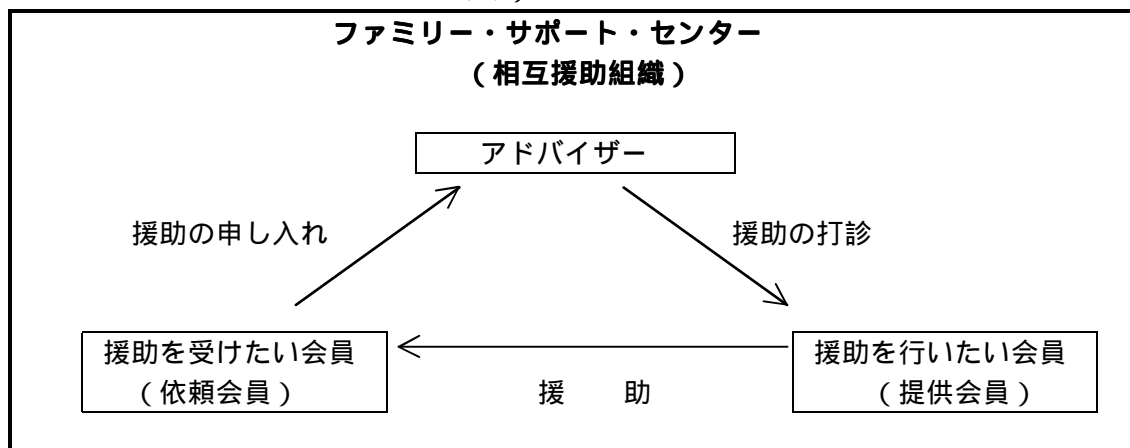
調査の概要

- 1 調査の対象、回答数
 - ・センター調査 平成13年度末までに設置された193か所のファミリー・サポート・センター
回答数193件（回収率100.0%）
 - ・提供会員調査 各センターにおいて無作為に選定した10名の提供会員
（総数1,930人）
回答数1,467人（回収率76.0%）
 - ・依頼会員調査 各センターにおいて無作為に選定した10名の依頼会員
（総数1,930人）
回答数1,204人（回収率62.4%）
- 2 調査時期 平成14年7月
- 3 調査の方法 郵送自計

ファミリー・サポート・センターとは

ファミリー・サポート・センターとは、かつての地縁、血縁機能を代替する相互援助活動を組織化したものである。会員は育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人からなり、急な残業や急用の際など、既存の体制では応じきれない臨時的、一時的な保育ニーズに対応するなど、地域における育児に関する相互援助活動をおこなう。厚生労働省では、ファミリー・サポート・センターを設置する市町村に対し、経費の補助を行っている。

（ファミリー・サポート・センターのしくみ）



< 参考 >

「相互援助活動に関する研究会」委員名簿

大日向 雅美（恵泉女学園大学人文学部教授）
武石 恵美子（ニッセイ基礎研究所主任研究員）
広岡 守穂（中央大学法学部教授）

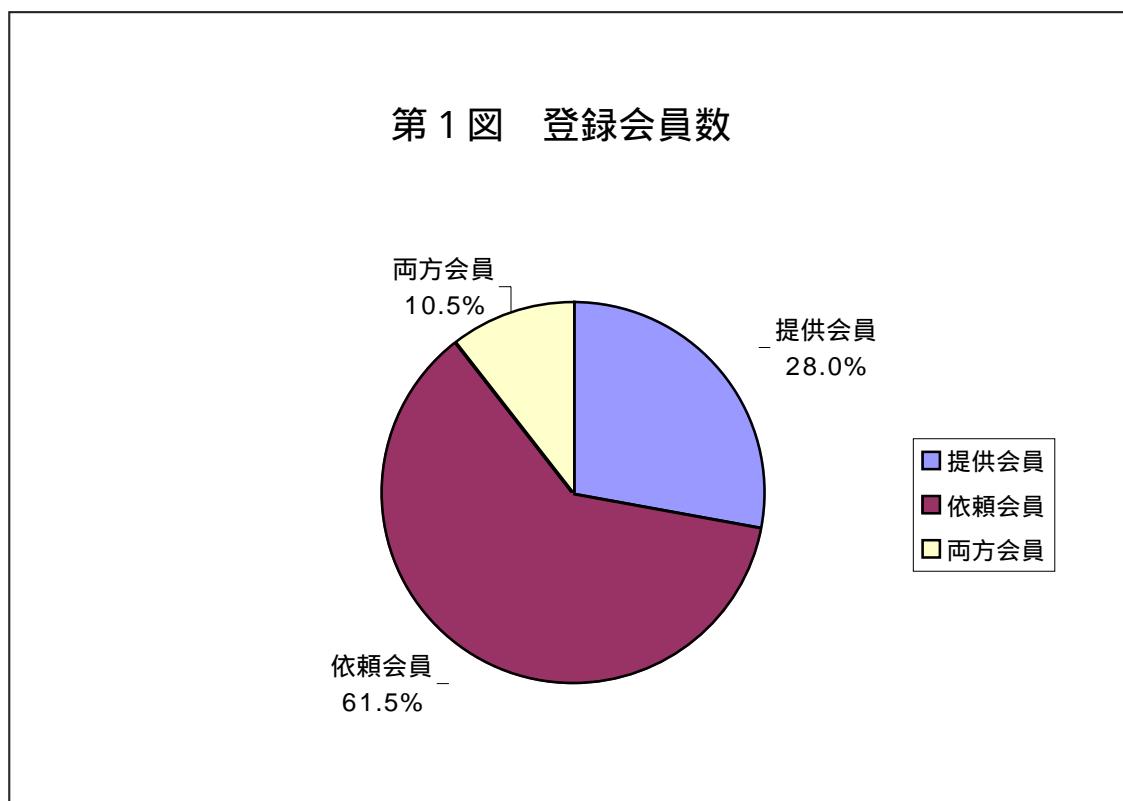
印は座長

調査結果の概要（速報）

1 会員の状況

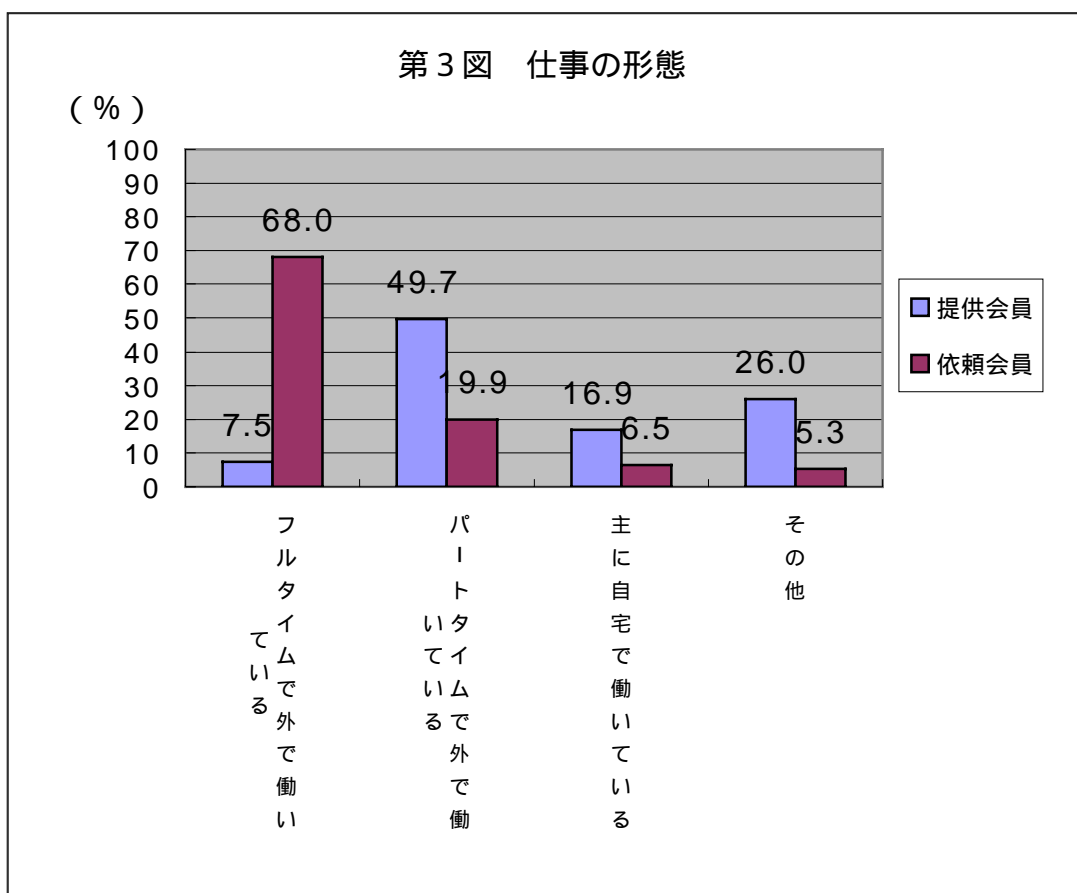
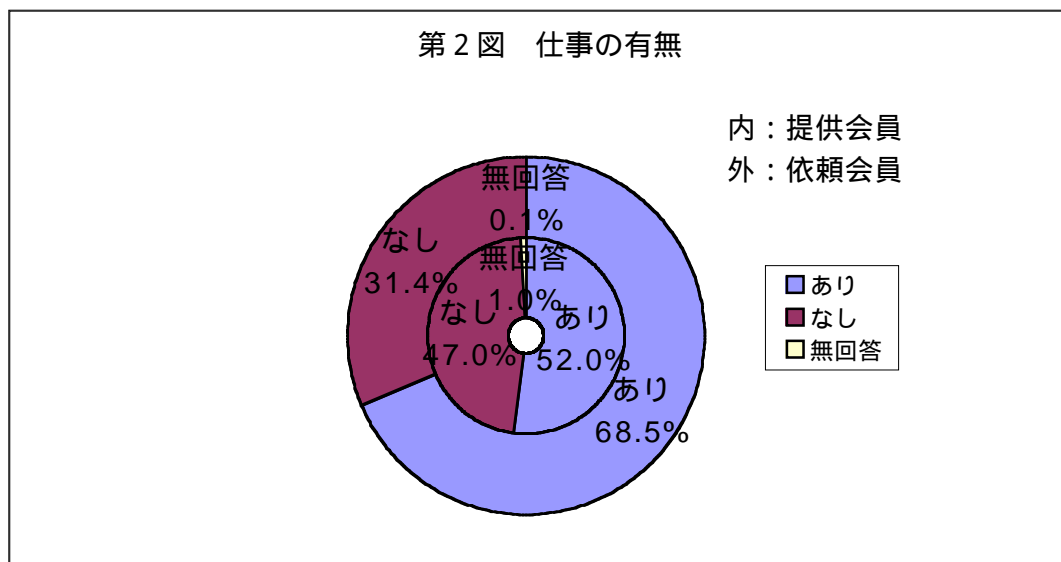
（1）1センターあたりの会員数は約500人

調査対象となった193センターにおける会員総数は、94,320人と10万人弱にのぼる。1センターあたりの会員は約500人、その内訳は依頼会員が6割強（61.5%）、提供会員が3割弱（28.0%）である（第1図）（第1表）。



(2) 会員の過半数は「仕事あり」

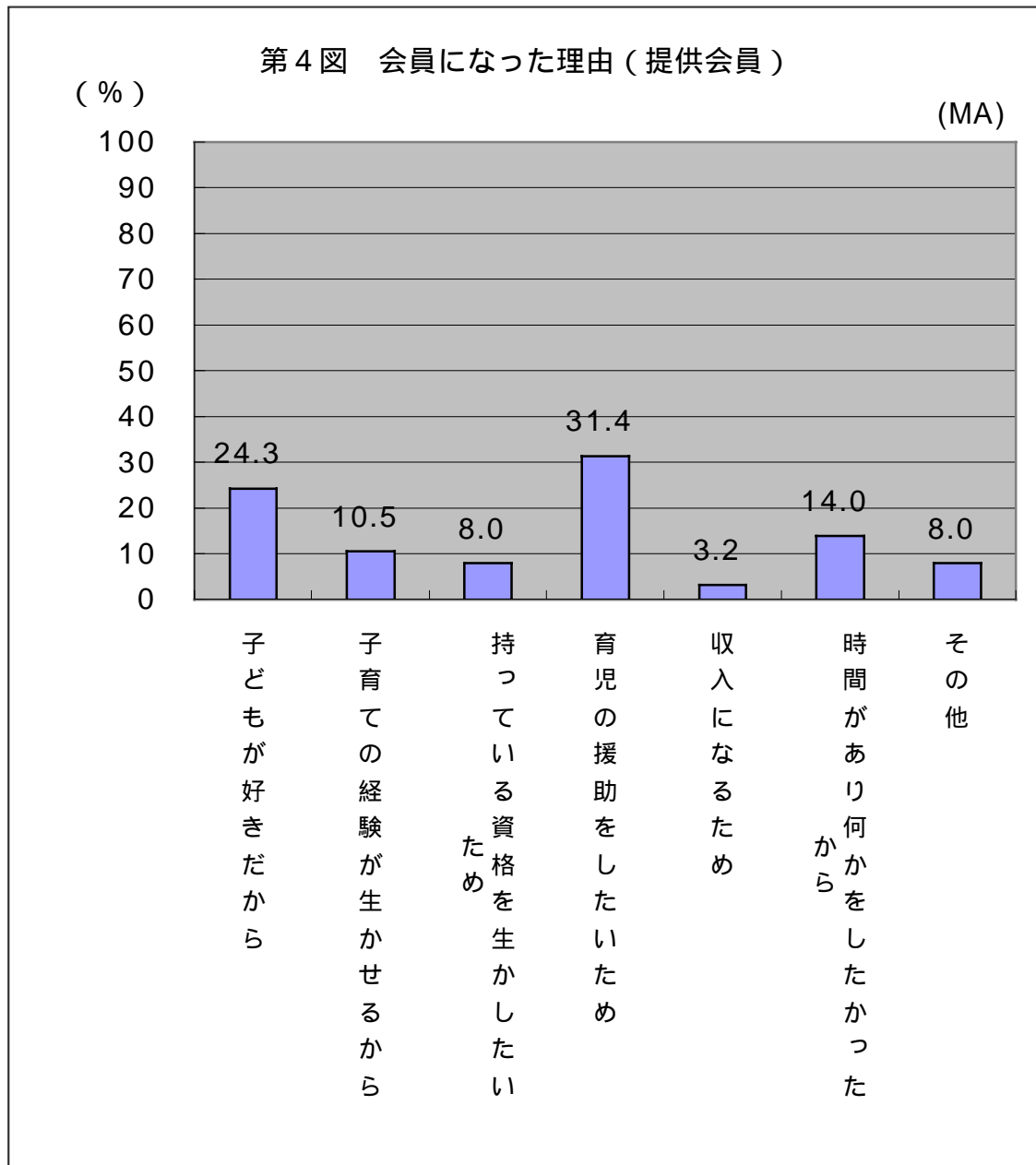
会員に対する調査では、提供会員、依頼会員とも「仕事あり」の者が過半数である。仕事の形態は、提供会員ではパートタイム等が多いが、依頼会員ではフルタイムで働く者の割合が約7割を占めている（第2図、第3図）（第2表、第3表）。



2 会員になった理由

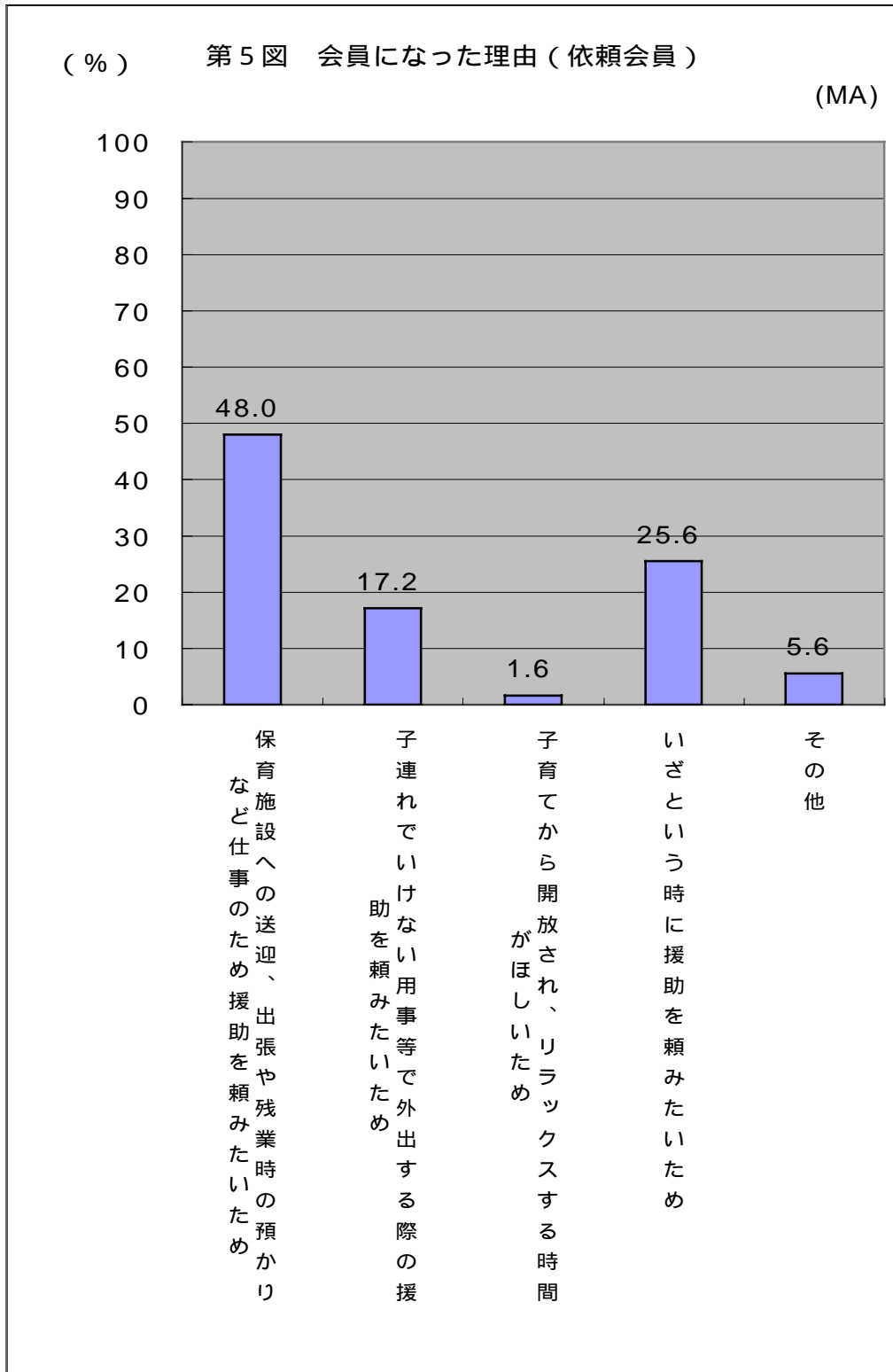
(1) 提供会員では「育児の援助をしいたいため」が3割強

提供会員が会員になった理由は、「育児の援助をしいたいため」が3割強(31.4%)を占めている。次いで「子どもが好きだから」(24.3%)、「時間があり何かをしたかったから」(14.0%)、「子育ての経験が生かせるから」(10.5%)の順になっている(第4図)(第4表)。



(2) 依頼会員では「育児と仕事の両立のための援助」が概ね半数

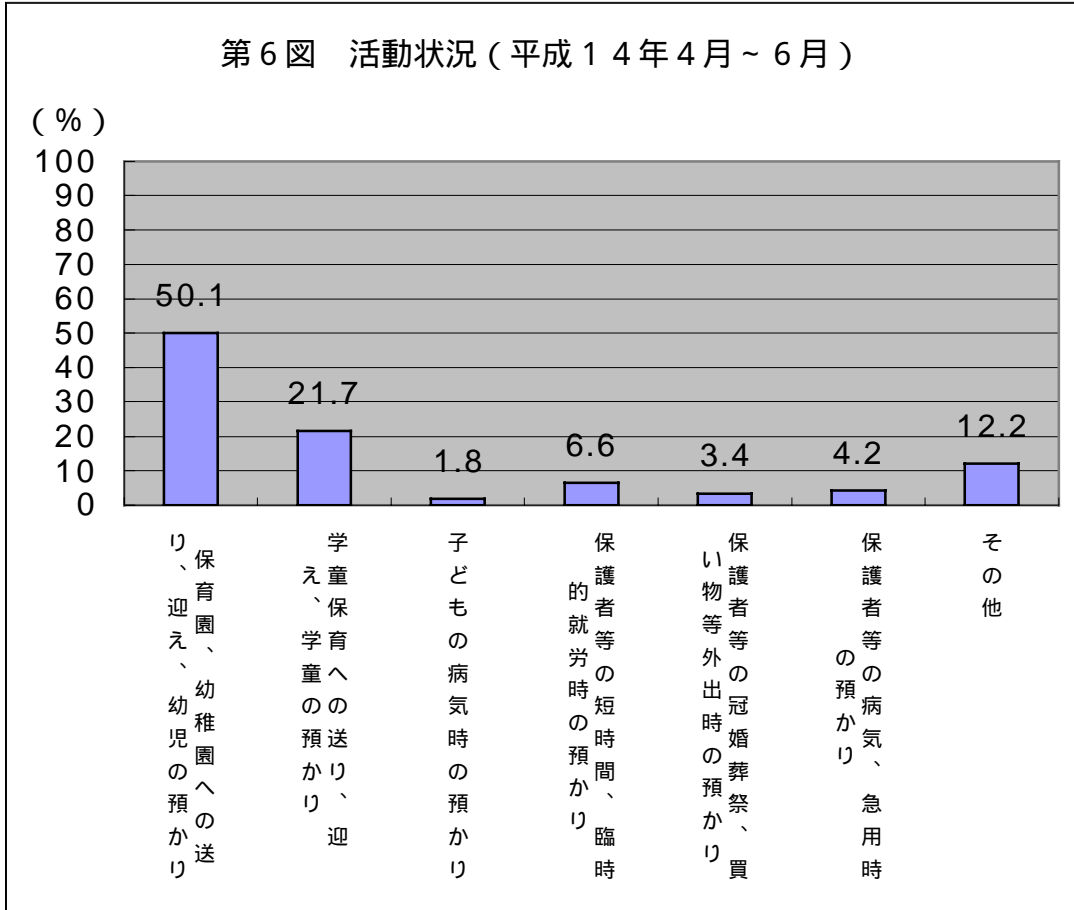
依頼会員が会員となった理由は、「保育施設への送迎、出張や残業時の預かりなど仕事のため援助を頼みたいため」(48.0%)が概ね半数であるが、「いざという時に援助を頼みたいため」(25.6%)、「子連れでいけない用事等で外出する際の援助を頼みたいため」(17.2%)など、臨時、緊急の対応を考えて会員となる者もある(第5図)(第5表)。



3 センター活動の状況

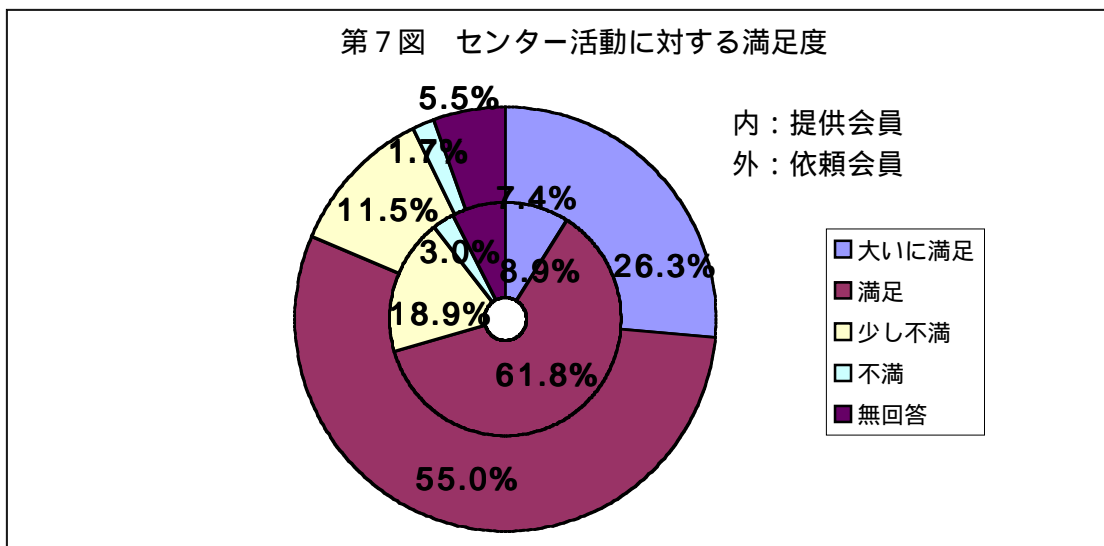
(1) 活動内容は半数が「保育園、幼稚園への送り、迎え、幼児の預かり」

平成14年4月～6月までの3か月間の活動件数は1センターあたり656回、活動内容別では「保育園、幼稚園への送り、迎え、幼児の預かり」が最も多く50.1%、次に「学童保育への送り、迎え、学童の預かり」が21.7%となっている(第6図)(第6表)。



(2) センター活動に対して提供会員の7割、依頼会員の8割が満足

センター活動について「大いに満足」又は「満足」と回答した者は、提供会員の70.7%、依頼会員の81.3%と、会員の大部分がセンター活動に満足している(第7図)(第7表)。

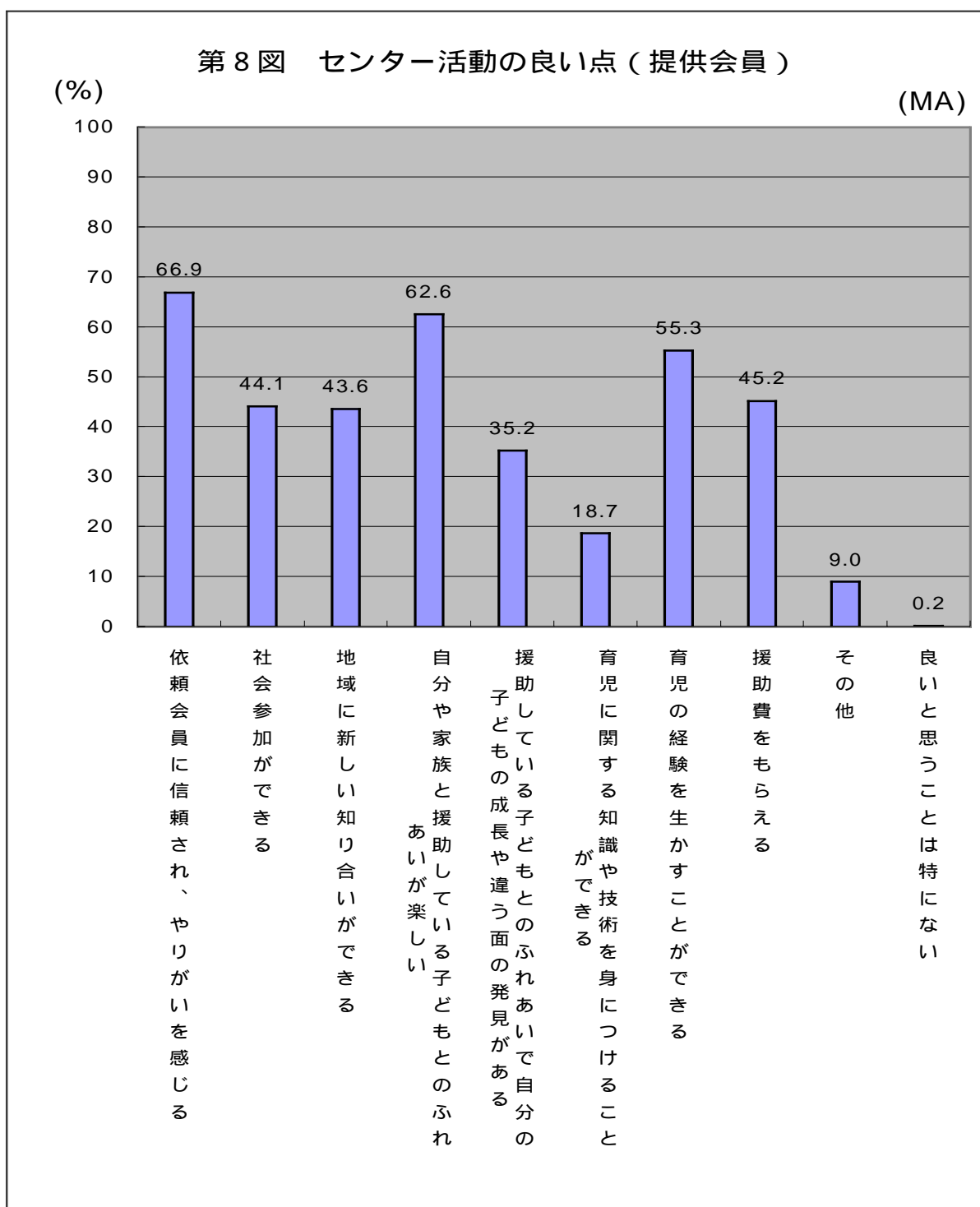


4 センター活動の良い点

(1) 提供会員は、「やりがいを感じる」「子どもとのふれあいが楽しい」

センター活動の良い点については、提供会員の95.6%から回答が得られた。

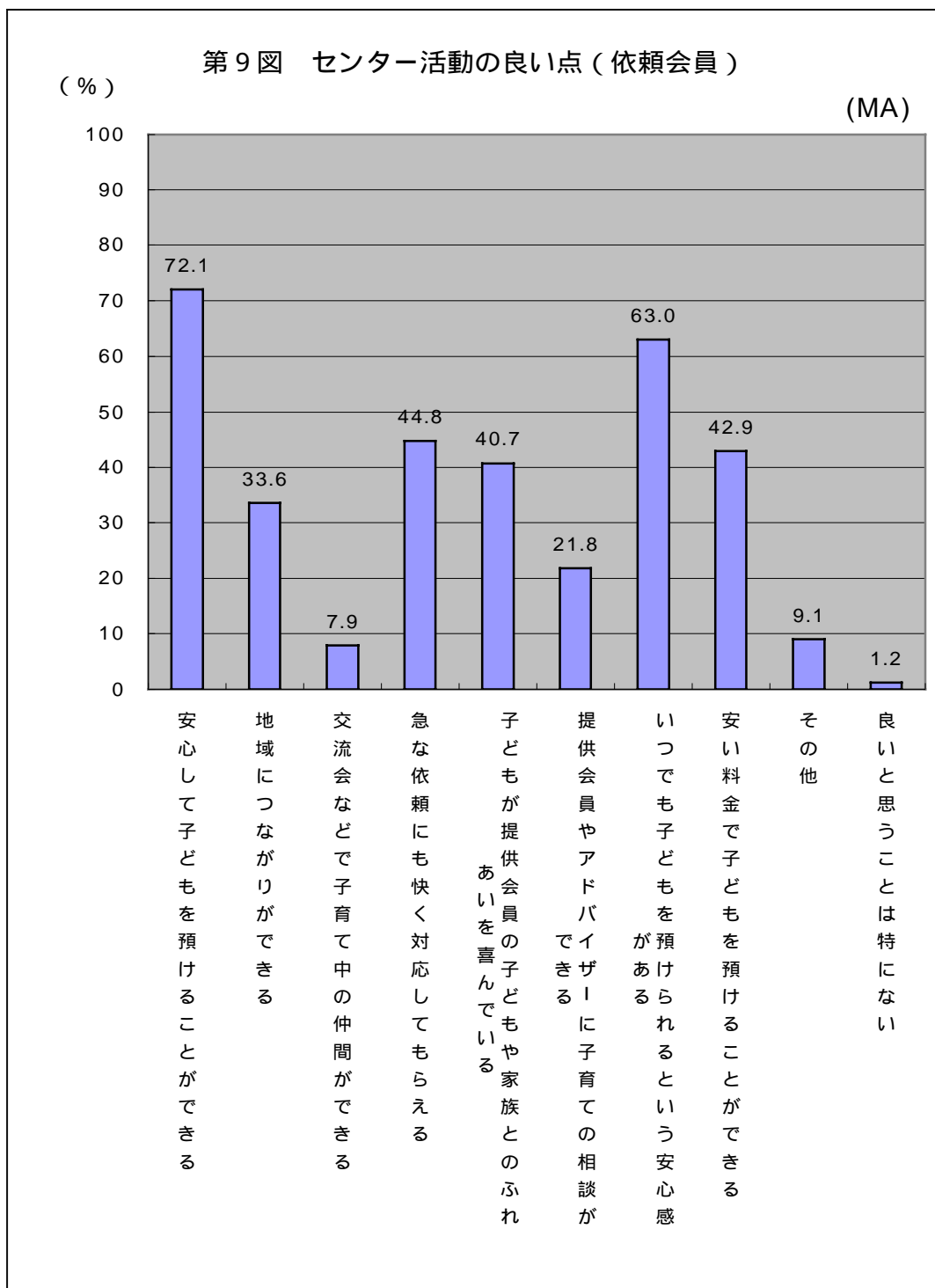
その中で最も多いのは、「依頼会員に信頼され、やりがいを感じる」(66.9%)で、次に「自分や家族と援助している子どもとのふれあいが楽しい」(62.6%)、「育児の経験を生かすことができる」(55.3%)、「援助費をもらえる」(45.2%)となっている(第8図)(第8表)。



(2) 依頼会員は「安心して預けられる」「いつでも預けられる安心感」

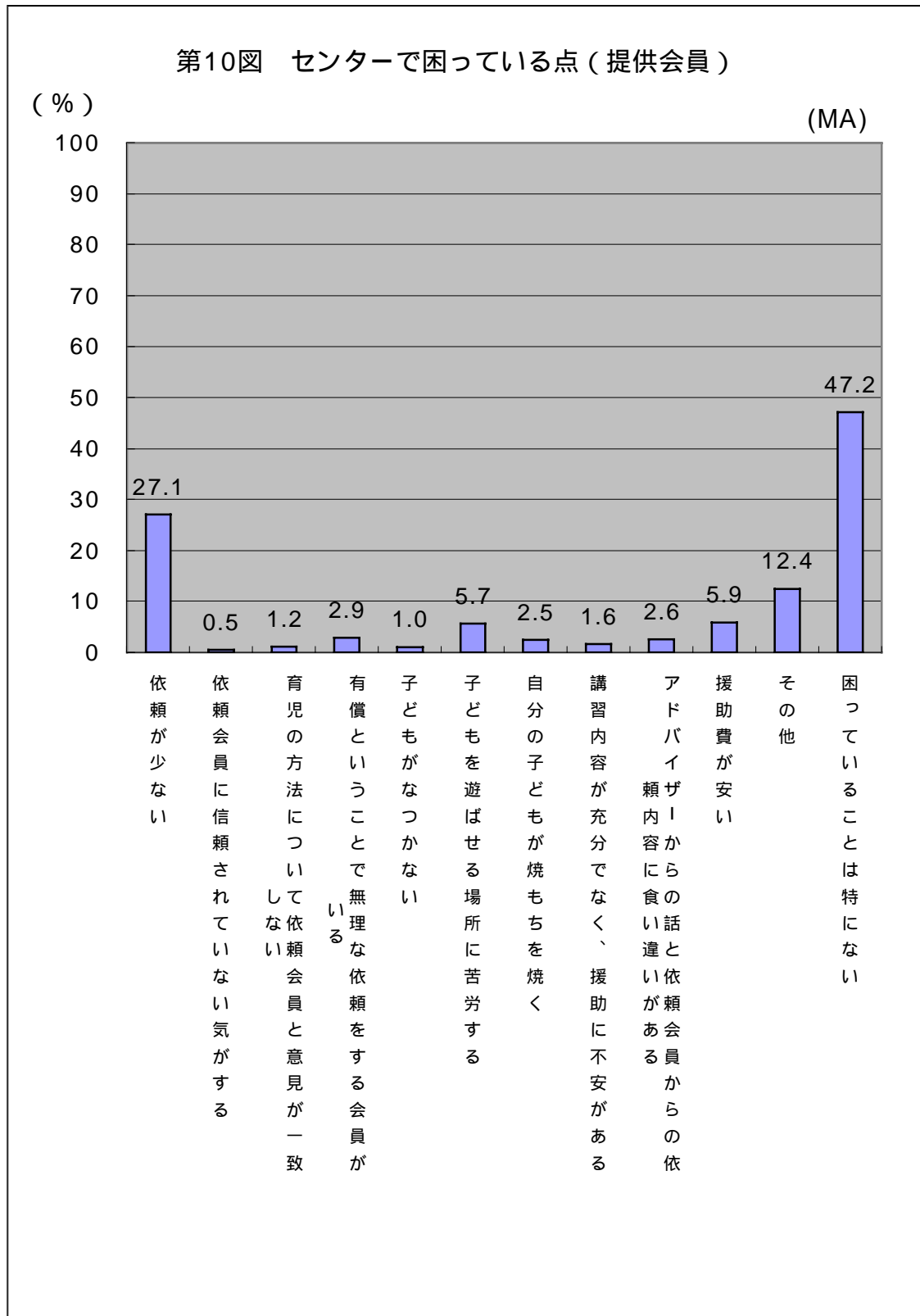
依頼会員においては、育児の援助を依頼して良いと思うことについての回答は更に高く、96.8%にのぼっている。

具体的には、「安心して子どもを預けることができる」(72.1%)とする者が最も多く、次に「いつでも子どもを預けられるという安心感がある」(63.0%)、「急な依頼にも快く対応してもらえる」(44.8%)、「安い料金で子どもを預けることができる」(42.9%)である。安心、便利、緊急時の対応といったセンターのメリットが挙げられている(第9図)(第9表)。

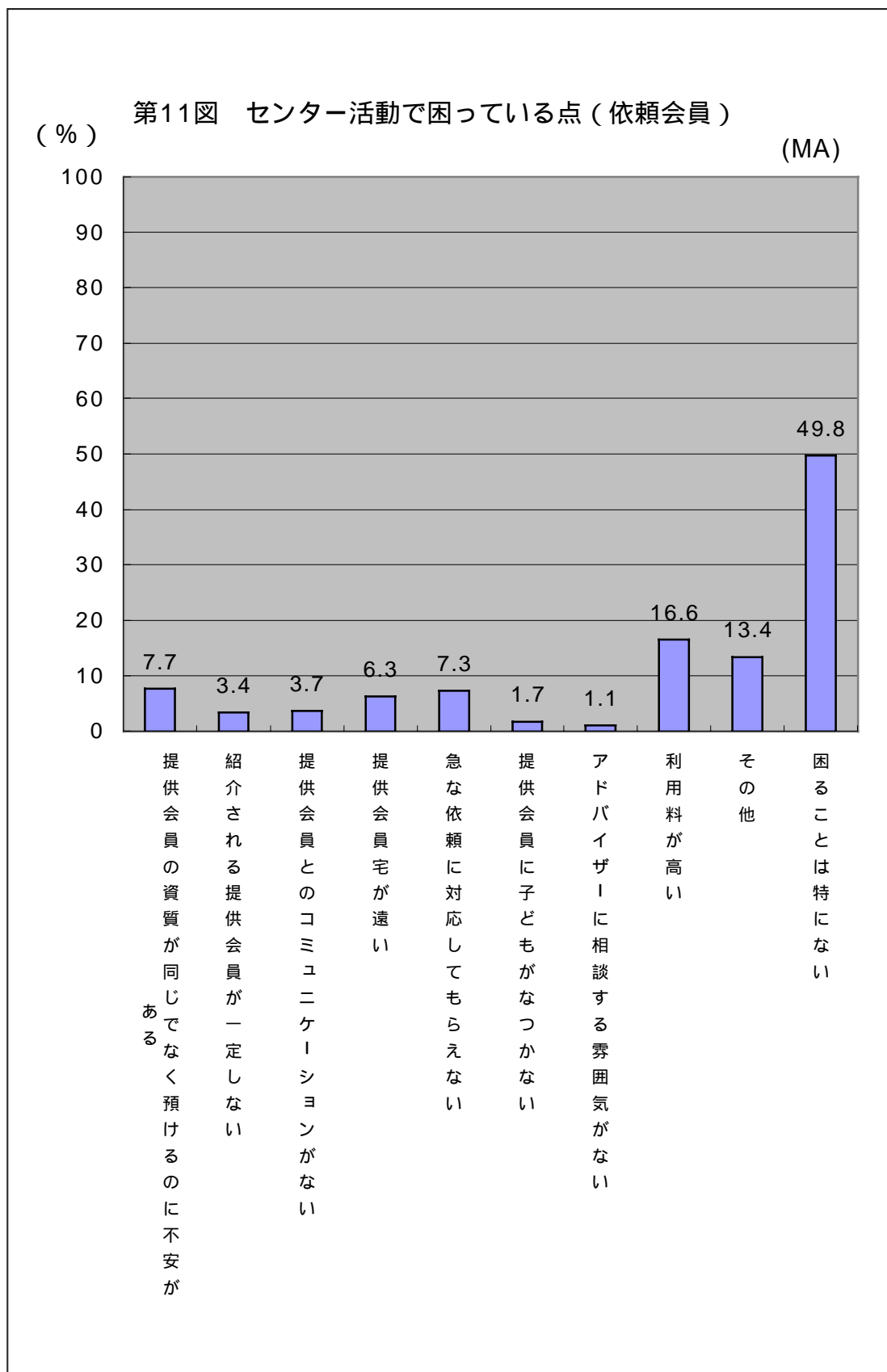


5 センター活動で困っている点

センター活動で困っている点について調査したところ、提供会員の47.2%が「困っていることは特にない」と回答している。困っていることとして挙げられている点は、多い順に「依頼が少ない」(27.1%)、「援助費が安い」(5.9%)、「子どもを遊ばせる場所に苦勞する」(5.7%)である(第10図)(第10表)。



依頼会員についても49.8%が「困ることは特にない」としている。困っていることとしては、多い順に「利用料が高い」(16.6%)、「提供会員の資質が同じでなく預けるのに不安がある」(7.7%)、「急な依頼に対応してもらえない」(7.3%)である(第11図)(第11表)。



6 センター活動等についての意見、要望

この調査では、子育て及びセンター活動についての意見、要望を記入する自由記述欄を設けた。提供会員の81.5%(1,195人)、依頼会員の64.2%(773人)が意見等を記述している。長文を寄せた者もあり、センター活動に対する関心の高さが窺われる。意見等の多くは、センターのお陰で働き続けられる、子育ての援助を受けて助かっている等、センター活動を評価するものとなっている。

次は、その一部である。

センターのお陰で働き続けることができる(依頼会員)

保育所のお迎えと仕事が終わるまで見ていただいています。現在の仕事を続けられているのは、センターのお陰と思っています。このようなサポート・センターがなければ、別の仕事を探さなければならず、生活基盤が成り立ちません。急な残業や子どもの体調不良などによる急な依頼にも快く対応していただき、お陰で仕事に穴をあけることもなく、安心して子どもをお願いできます。

働く母親を応援したい(提供会員)

保育所、学童保育が充実しているとはいえ、夕方、夜、土日等施設で足りない時間を家庭的雰囲気の中でゆったりと過ごさせてあげるセンター活動は、とても有意義だと思います。

仕事との両立で大変と思われそうですが、一生懸命頑張っている姿が頼もしいです。若いお母さんの後ろ姿にエールを送れることを幸せに思っています。

見知らぬ土地で子育てを援助してもらって助かった(依頼会員)

夫の転勤で今の所に来ましたが、夫婦とも実家が遠く、知人も全くいない見知らぬ土地での3人の子育てに不安でしたので、早速会員登録をしました。上の子の幼稚園、病院等、その都度、良い会員の方に恵まれ、何とか切り抜けることができました。

現在、すっかり土地にも慣れ、多くの友人もでき、私自身も多少時間もでき、センターのお世話になる回数も減りそうですが、周りに親戚や知人がいない者にとってセンターは強い味方で、救いの神です。

子どもとの楽しい時間を過ごせてセンター活動は楽しい(提供会員)

保育園に迎えに行った私にニコッと笑って飛び込んできます。本当に可愛い。子ども達から沢山の元気を運んでもらい、また発見もあり、楽しい一時を過ごすことができます。

私を頼り慕ってくる子どもを見ていると私でも役立っているんだと実感でき、センター活動の依頼を受けるたびに「ありがたい」という感謝の念を持ちます。様々なご希望に添えるよう、この活動を続けていきたいと思っています。

子育ての経験豊富な提供会員に子育ての援助をしてもらい助かっている(依頼会員)

私がお世話になっているサポート会員さんはいつも温かく何でも相談にのってくださいます。既に両親もなく頼るところも実際にありませんので、子育ての経験豊富な会員の方に子育ての助言をいただいたり、趣味の会合などで外出する際、子どもをみてもらうことができ大変助かっています。

お陰で悩んでイライラすることも少なくなり、また、たまに子どもを預けて外出することにより、リフレッシュすることができ、明るい気持ちで子どもに向きあえます。

子育て中の母親を応援したい(提供会員)

今の世の中、ご近所付き合いがなく、一人で悩んでしまうお母さんが多いように思います。ほんの1~2時間子どもを預けることにより、お母さん達がリフレッシュできるのなら、子育ての先輩として、ほんの少しアドバイスする……。それもセンター活動には大切な事ではという思いでいます。

集計表（速報）

第1表 登録会員数

	会員数	内男性会員数	1センターあたり会員数（内男性）
提供会員	26,426人（28.0%）	700人（19.7%）	136.9人（3.6人）
依頼会員	57,977人（61.5%）	2,771人（78.0%）	300.4人（14.4人）
両方会員	9,917人（10.5%）	80人（2.3%）	51.4人（0.4人）
合計	94,320人（100.0%）	3,551人（100.0%）	488.7人（18.4人）

第2表 仕事の有無

	あり	なし	無回答	合計
提供会員	763人（52.0%）	690人（47.0%）	14人（1.0%）	1,467人（100.0%）
依頼会員	825人（68.5%）	378人（31.4%）	1人（0.1%）	1,204人（100.0%）

第3表 仕事の形態

	提供会員	依頼会員
フルタイムで外で働いている	57人（7.5%）	561人（68.0%）
パートタイムで外で働いている	379人（49.7%）	164人（19.9%）
主に自宅で働いている	129人（16.9%）	54人（6.5%）
その他	198人（26.0%）	44人（5.3%）
無回答	0	2人（0.2%）
合計	763人（100.0%）	825人（100.0%）

第4表 会員になった理由（提供会員）

（MA）

子どもが好きだから	357人（24.3%）
子育ての経験が活かせるから	154人（10.5%）
持っている資格を活かしたいため	117人（8.0%）
育児の援助をしたいため	460人（31.4%）
収入になるため	47人（3.2%）
時間があり何かをしたかったから	205人（14.0%）
その他	117人（8.0%）
無回答	10人（0.7%）
合計	1,467人（100.0%）

第5表 会員になった理由（依頼会員）

(MA)

保育施設への送迎、出張や残業時の預かりなど仕事のため援助を頼みたいため	578人(48.0%)
子連れでいけない用事等で外出する際の援助を頼みたいため	207人(17.2%)
子育てから開放され、リラックスする時間がほしいため	19人(1.6%)
いざという時に援助を頼みたいため	308人(25.6%)
その他	67人(5.6%)
無回答	27人(2.2%)
合計	1,204人(100.0%)

第6表 活動状況（平成14年4月～6月）

保育園、幼稚園への送り、迎え、幼児の預かり	63,360回(50.1%)
学童保育への送り、迎え、学童の預かり	27,485回(21.7%)
子どもの病気時の預かり	2,226回(1.8%)
保護者等の短時間、臨時的就労時の預かり	8,379回(6.6%)
保護者等の冠婚葬祭、買い物等外出時の預かり	4,347回(3.4%)
保護者等の病気、急用時の預かり	5,309回(4.2%)
その他	15,450回(12.2%)
合計	126,556回(100.0%)
1センターあたり活動件数	656回

第7表 センター活動に対する満足度

	提供会員	依頼会員
大いに満足	130人(8.9%)	317人(26.3%)
満足	907人(61.8%)	662人(55.0%)
少し不満	277人(18.9%)	138人(11.5%)
不満	44人(3.0%)	21人(1.7%)
無回答	109人(7.4%)	66人(5.5%)
合計	1,467人(100.0%)	1,204人(100.0%)

第8表 センター活動の良い点（提供会員）

(MA)

依頼会員に信頼され、やりがいを感じる	982人(66.9%)
社会参加ができる	647人(44.1%)
地域に新しい知り合いができる	639人(43.6%)
自分や家族と援助している子どもとのふれあいが楽しい	919人(62.6%)
援助している子どもとのふれあいで自分の子どもの成長や違う面の発見がある	517人(35.2%)
育児に関する知識や技術を身につけることができる	275人(18.7%)
育児の経験を生かすことができる	811人(55.3%)
援助費をもらえる	663人(45.2%)
その他	132人(9.0%)
良いと思うことは特にない	3人(0.2%)
無回答	62人(4.2%)
合計	1,467人(100.0%)

第9表 センター活動の良い点（依頼会員）

(MA)

安心して子どもを預けることができる	868人(72.1%)
地域につながりができる	404人(33.6%)
交流会などで子育て中の仲間ができる	95人(7.9%)
急な依頼にも快く対応してもらえる	539人(44.8%)
子どもが提供会員の子どもや家族とのふれあいを喜んでいる	490人(40.7%)
提供会員やアドバイザーに子育ての相談ができる	263人(21.8%)
いつでも子どもを預けられるという安心感がある	759人(63.0%)
安い料金で子どもを預けることができる	516人(42.9%)
その他	110人(9.1%)
良いと思うことは特にない	15人(1.2%)
無回答	23人(1.9%)
合計	1,204人(100.0%)

第10表 センター活動で困っている点（提供会員）

(MA)

依頼が少ない	397人(27.1%)
依頼会員に信頼されていない気がする	8人(0.5%)
育児の方法について依頼会員と意見が一致しない	17人(1.2%)
有償ということで無理な依頼をする会員がいる	42人(2.9%)
子どもがなつかない	15人(1.0%)
子どもを遊ばせる場所に苦労する	83人(5.7%)
自分の子どもが焼もちを焼く	36人(2.5%)
講習内容が充分でなく、援助に不安がある	24人(1.6%)
アドバイザーからの話と依頼会員からの依頼内容に食い違いがある	38人(2.6%)
援助費が安い	87人(5.9%)
その他	182人(12.4%)
困っていることは特にない	693人(47.2%)
無回答	90人(6.1%)
合計	1,467人(100.0%)

第11表 センター活動で困っている点（依頼会員）

(MA)

提供会員の資質が同じでなく預けるのに不安がある	93人(7.7%)
紹介される提供会員が一定しない	41人(3.4%)
提供会員とのコミュニケーションがない	45人(3.7%)
提供会員宅が遠い	76人(6.3%)
急な依頼に対応してもらえない	88人(7.3%)
提供会員に子どもがなつかない	21人(1.7%)
アドバイザーに相談する雰囲気がない	13人(1.1%)
利用料が高い	200人(16.6%)
その他	161人(13.4%)
困ることは特にない	600人(49.8%)
無回答	95人(7.9%)
合計	1,204人(100.0%)